

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年2月10日

事業所名: 児童発達支援 きみそらBase登戸

対象人数(保護者)28人 回答者数 21人 回収 75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	2		個別指導時に使うお部屋に道具が置いてあるのを見たことがあったので、道具を入れる倉庫があると良さそうだと感じました。写真など見ても、生き生きと活動している様子で良いと思います。	個別訓練室内には、棚(教具収納)を設置させていただいております。また、集団活動時では活動に集中できるように、移動できるモノに関してはなるべく移動させて広い空間にて活動できるよう環境を設定させていただいております
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3	こちらは実際に見ていないのでわかりませんが、問題ないと思っています。適切であると思っていますが、常に何人のお子さんについて、何人の先生方が付いていらっしゃるかは、把握しておりません	【適正人数とは、10人の子どもに対して2人が最低基準ではあります】きみそらBaseでは、児童指導員加算1名と専門的支援体制加算の1名をプラスして配置体制を取っております。
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	1	1	入り口の階段にもスロープがあれば助かります。専門的な知識がないため、判断しかねますが、部屋が分かれている部分は良いのではないでしょうか。保育園にあるような幼児用トイレではなく、一度子供が嫌がったと聞いていますので、トイレ等設備の配慮があればと思います。	正面からの入室が困難の場合は、駐車場側からの職員(事務所)入り口を使用できます。必要な際には、お声がけください。他設備などに関しては、様々な場所で対応(獲得・実施)できるように訓練や支援として行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				いつ伺ってもきれいです。お世話になる前、一度訪れた印象では問題ないかと存じます。	ありがとうございます。引き続き、きれいに居心地が良い空間を心がけて参ります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			いつも丁寧に見ていただきありがとうございます! 苦手なところを細かく指導してくださっています。 個別の部屋で先生とマンツーマンでの作業は他の事業所ではなく、子どもも集中して取り組むことができいいと思う。 活動報告がとても丁寧で我が子の様子が分かりやすい。 まだ短い期間で、成長が目に見えるとは言い切れないので。 専門の先生(STやOT等)が常時いてくださると、より嬉しいです	職員の中に、児発管・作業療法士・言語聴覚士など、専門職の方にアセスメント(訓練)を行い、お子様へアプローチしております。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21				敢えて本人が苦手なシーンを作るなど、訓練はさせていただいているため。	ありがとうございます。
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20	1			とても鋭い観察力だなーといつも感心して夫とも話しています。ここまでみてくださるきみそらのスタッフのスキルの高さに感動しています。 ここまで深いことまではわかりかねます。	引き続き、お子様のニーズに合わせた計画になるように努めさせていただきます。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2		1	そこまではよくわかりかねます。	の方にもわかりやすいご説明をさせていただくように尽力いたします。
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				頑張ってくださっていると思います。	ありがとうございます。
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		1	いつもいろいろな活動ありがとうございます。 週一のみの利用だが、毎回違うドリル?を行って持ち帰ってくるので、こういうものがあるのだと親も勉強になる。最近だと点描写。 ここまで幅広く支援いただいている印象はありませんが、固定化されているかもしれません。	活動プログラムは、ご利用されているお子様の特性に合わせた訓練になるようを行っています。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2		6	月2回も保育所等訪問支援していただけて感謝しかありません!本当にありがとうございます! 保育園に通っています。習い事も検討中です。 今後、幼稚園との交流が少しずつでも増えていくと嬉しいです	気候が良い時には、近くの公園やお散歩に行きまして、他の施設様のお子様と交流させていただくこともあります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1			していただいた記憶もありますが、そこまで深く残ってはいないため。	更なる丁寧なご説明を心がけてまいります。
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1			記憶にございません。	丁寧なご説明を心がけます。
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18			3	土日の親が参加しやすい時に開催してくださって助かっています!ただ、職員さんが十分に休むことができているのか心配です。 情報提供していただいた記憶がございません。 ママ会、パパ会等、いつも助かります	いつもありがとうございます。HUG内”活動記録”にてイベント等のご案内をさせていただいておりますので、ご都合あいましたらご参加お待ちしております。
	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21				たくさんの利用者がいる中で、週一の利用でも保育園の担任と同じくらい子供の話ををしていただけることがありがたい。 連絡を読んで、概ね共有されていると思います。 入所当初より、人数が増えたので、相談することをためらってしまいますが、いつも気にかけていただき有り難いです	ありがとうございます。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		2	2	面談はない 就学を見据えて相談したいと伝えたら、面談の場を設けていただきありがとうございました。 面談はまだ行ったことがありません。	いつも、HUG・お電話等にお声がけください。日程調整させていただき実施いたします。
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1		【共感的サポートとは”前向きに取り組もう”とするサポート】日々お子様に寄り添い、合わせた内容を実施していくよう心掛けでいます。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	1		3	いつか参加したいです。 充実しすぎるほど充実していると思います!(笑) 参加したいが、子どもを連れて行っているのか、詳細がわかられば教えて頂きたいです。 どの年齢の子ども対象の勉強会かわかるとイメージしやすいと思います。 アプリで開催のお知らせは見ていますが、参加しておらずわかりません。	HUGの活動記録にてイベント等のご案内をさせていただいております、詳細につきましてより分かりやすいように明記して参ります。
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			2	リハビリで指摘された内容などを伝えるとすぐにその日の療育に活かして下さり、先生方の意欲的な関わりに感謝しています。 面談ありがとうございます	ご相談等の面談に関しては随時受け付けております。HUGや電話(直接:送迎時)などお声がけくださいませ。
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2			お迎えの時に、一言今日の様子を教えて頂けると嬉しいです。 例:みんなの前で挨拶したなど 連絡は読んでいますが、疎通というよりは一方通行な印象です。	送迎の際は、次のお子様もいる為なかなかお話することが難しいですが、ご質問などお話しがある際にはHUGなどでお知らせをいただけると、お答えできるかと思います。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			2	写真付きで報告してくださるので普段どんな活動をしどんな表情で参加しているのかイメージしやすいです。 毎回とても詳しく丁寧に報告していただきありがとうございます。	さらに分かりやすいうように、考えながら今後も発信に努めてまいります。
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2			子どもの写真共有の際、他の子の顔が見え、名前も名札で見えているときがあるので、気にする方は気にするのではないかでしょうか。	お子様同士などの会話にて、”(何かアクションを起こす前など)お友だちの名前を呼ぶ「例)○○くん、あそぼう!」等”を狙いとして、名札を着用しております。記録等での写真を載せる際は名札(個人情報)に配慮しながら掲載させていただきます。個人情報に関しては、鍵付き書庫にて管理しており、施設内にはSECOMの防犯システムを導入しています。個人情報取扱いについては定期的に職員研修などをしております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1	6		各種マニュアル等に関しては、サイトにて、いつでも確認できるようにしております。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			5		避難(火災・地震・不審者など)訓練は、月に一回不定時間、不定曜日にて実施しております。
	㉕	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			3		事業所内の設備点検を定期的に行っております。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			5	鼻血が出た時は対応していただき、ありがとうございました! 仕事後にアプリでの連絡を見る、または保育園の先生から教えてもらっていますが、直接お話があったことはありません。血が止める様な怪我、頭を打った等はきみそらさんから直接お話を伺いたい気持ちはあります。	ご家族さまが就労(勤務)の方が多くいらっしゃいますので、緊急を要するお知らせ以外はHUG(メッセージ)でのおらせさせていただいております。
満足度	㉗	お子さまは、安心感をもって通所していますか。	21				今後に向けて放課後デイの見学に何件も行きましたが、施設の中に入れず2度と連れて来るな!と激しく怒る時があり、きみそらの安心して通える満足度を感じています。 今日はきみそら?と気にして通っています。	引き続き、お子様に安心してワクワクしていただけるような環境を提供していきます。
	㉘	お子様は、通所を楽しみにしていますか。	19	2			帰ってくる時の笑顔で癒されます。 とにかく、息子本人から「きみそら!」と言う言葉が出るほど通所を楽しみにしています。 行く時は気持ちが乗らない事もあるが、帰る時には楽しかったと言っている。 怒られたことがあったときに、嫌だなーと愚痴をこぼひたことはありますが、概ね楽しんでいると思います。	引き続き、お子様に楽しんでいただけるような環境を提供していきます。
	㉙	きみそらBase登戸の支援に満足していますか。	21				親身になって支援してくださり、とても助かっております。色々相談に乗ってくださいありがとうございます。 通わせてから、本当に見違えるようになりました。ありがとうございます。 その日の活動写真を撮って共有して下さり、活動のイメージができ有り難く思っています。 普段、見ることのない表情が見れ、何度も見返しています。 少しずつですが、成長が見えると嬉しいです。	みなさまのお声大変光栄でございます。 引き続きよろしくお願ひいたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	きみそらBase登戸				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	-	(サービス時間を区切り) 年齢や必要な支援に応じて支援している	限りある中で、常に「良いものへ」と変更していきます
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	-	引き続き、配置に関しては、適正人数を下回らない範囲にて運営につとめてまいります	-
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	-	-	(開所してから) 運営について定着してきましたため「わかりやすく・使いやすいように」職員にて検討・実践する必要がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	-	施設内に関しては日々掃除しております	道路側・裏側に関してはガラスが汚れていることが多い為、曜日を決めて清掃してまいります
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	-	クールダウン等必要に応じて個別のお部屋や相談室など使えるようにしている	-
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	-	社内で作成された(目標管理)シートを使用して、担当業務を振り返る。また、隙間時間にて話をしながら振り返るを設けています	たわいのない内容でも、共有シートを活用していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	-	保護者からの評価表を元に職員間で共有をして改善に繋げられるようにしている	-
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	-	社内にてオリジナル共有シートを作成し活用している。職員同士で意見を出し合いながら業務について話し合っている	情報共有の改善点・業務内容については、都度検討材料とする
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	-	(放デイ・保訪と共に) 外部の方に1年に数回来ていただき相談をしている	-
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	-	-	時間の工夫をしながら、療育の質やスキル向上に繋がっていくよう努めしていく
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	-	プログラム作成・公表しております	-
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	-	共有や積み重ねができるように、社内にて個人情報の扱いに留意しながら作成している	-
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	-	支援職員も、目を通すだけでなく、記入など携わる機会を設けている	-
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	-	職員間では共有できている	常勤ではない職員への共有方法に関して、伝わりやすくわかりやすいオリジナルの情報共有を用いていく
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	-	-	(放デイ・保訪と共に) 先を想定するアセスメントと計画作成

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	-	引き続き、実施して参ります。	各支援においてさらに必要とされる分野に特化していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	-	”前もって”全体に発信していくようにしていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	-	隙間時間にて、各職員アイディアを出し合ってプログラムを考えている	蓄積や振り返りを行うことを実施する
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	-	お子様に合わせた内容にて作成・支援をしている	偏りがないように、各職員にて情報共有をする
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%	職員間では共有できている	常勤ではない職員への共有方法に関して、伝わりやすくわかりやすいオリジナルの情報共有の活用や修正を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	”必ず”はできていない	その日の熱量にて気づいた点など共有できるようにする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	-	HUGを用いて、日々の記録を保護者と共有している	記録に関して、”最善であり、良質なものなのか?”を定期的に見直していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	-	Googleフォームを利用し、保護者や職員からのモニタリングを実施している	適切さや、利便性を考慮して日々検討していく
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	-	(放デイ・保訪と共に) 必要に応じて実施している	-
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	-	(放デイ・保訪と共に) 必要に応じてご意見・相談をさせていただいております	-
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	-	他施設との並行利用に向けた支援や受け入れ先等と連携している	現状、きみそらBaseに対してのニーズや受容先が少ない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	共有体制はできている	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			※当施設は、該当せず	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60%	40%	連携の為の時間や環境を作る工夫をしていく	

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	-	系列園がある環境を生かす	行事に参加などの協力依頼をする
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	-	HUGでの記録公開や、面談等を必要に応じて機会を設けております	全利用家庭へのコミュニケーションがとれるように、そのご家庭にあわせたものを実施していく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	-	・パパママ会を行っています ・家族間での交流の機会を設けています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	-	当事業所でしか閲覧できない、ファイル(紙媒体)ではなくオンラインにて閲覧できるようにしている	QRコードや、URLにて告知をしているが、「更新」の頻度を上げ、誰しもが「認知」する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	-	計画を作る際には面談等で確認をしながら作成をしている	相違がないように、コミュニケーションの頻度をあげる
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	-	丁寧に適切に同意を取らせていただきます	-
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	-	面談やHUG(チャット機能)にて連絡を取れるようにしている	全利用家庭への実施を行う
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	-	施設内行事(パパママ会・研修会・もちつきや夏祭り等のイベント)をしている	全利用家庭の参加を目指す
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	-	保護者に寄り添いながらお困りがあれば随時行っている	-
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	-	施設内ではHUG(活動記録)にて、外部向けには発達ナビにて情報を掲載している	-
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	-	特に、写真を撮る時には十分気を付けています	-
非常時等の対	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	-	丁寧に対応しています	知識に関しては常に向上していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	-	イベントを開催して、近隣・地域の方も参加できるようなイベントをしている	毎年行うため、飽きさせない内容
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	-	共有ファイルにてその都度更新をしながら職員に周知している	新しく入社される方にも、わかりやすい格納にする
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	-	行っています	新しく入社される方にも、閲覧しやすいものをする
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	-	契約時や、面談にて確認をしている	随時情報のアップデートを行う
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	アレルギーには施設内職員誰しもが目にする場所に掲示	指示書に関しては、要確認する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	-	避難訓練を実施している	法定以外での実施を行う

応	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	-	入所時に説明をさせていただいております	-
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	-	ヒヤリハット報告書に関しては、毎日の閲覧情報欄にて掲載・共有している	-
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	-	所定回数にて実施しています 気になっている事に関しては、共有しています。 子どものケガなど気になる事を発見している時には共有しています。	-
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	-	利用開始時に説明を行ってあります やむおえない場合にはHUG等でお知らせしています	-

(公表) 事業所における自己評価総括表 ／ 児童発達支援

○ 事業所名	きみそらBase登戸 (児童発達支援)		
○ 保護者評価実施期間 (HUG)	2025年11月22日 (土) 23:55 から 2025年12月14日 (日) 23:55まで		
○ 保護者評価有効回答数	対象者) 28人	回答者数) 21人	(75%)
○ 従業員評価実施期間 (フォーム)	2025年12月27日 (土) から 2026年1月9日 (金)		
○ 従業員評価有効回答数	対象者) 5人	回答者数) 5人	(100%)
○ 事業者向け自己評価作成日	2026 年 2 月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の 強み (※) だと思われる こと ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園での経験豊かな先生が多いので園生活を見据えた支援が実施出来る	進級・就学を見据えた支援設定	園に支援内容を理解してもらうよう取り組む
2	訪問と連携している	情報共有、困り感をキャッチしている	園に有意義だと思えるような伝達
3	保護者への共感	色々な経験豊かな職員による面談を行い寄り添う	家族支援の充実を図る

	事業所の 弱み (※) だと思われる こと ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重度の障害に対するスキル不足	強度行動障害の研修を受講 咳痰対応講習受講など	環境設定など
2	専門的な心理・言葉などに対する知識を付けていきたい	専門的知識をもつ職員の療育を不定期に実施していく	心理職員等の採用
3	定員 10 名	希望される方を受け入れることが出来ない	保護者ニーズをお受けできるよう拡大していく努力